

平成30年度 大東小学校関係者評価書

4段階評価 「4」～期待以上 「3」～ほぼ期待どおり 「2」～やや期待を下回る 「1」～改善を要する

評価項目	評価指標	具体的目標	学校の自己評価	自己評価		学校関係者評価	
				学校	総合	評価	コメント
知に関する内容	1. 「読み」「書き」「計算」「話すこと」の到達目標を基に、基礎学力の向上を図る。	○ 国語の教材文(指定した範囲)を、暗記して読むことができる児童90%以上を目指す。	★学校評価90% ○ 朝の時間に音読の活動を行ってきた。暗記を通して、すらすら読める児童が増えてきた。継続することで、読むことに慣れさせ、読解力向上にもつながるようにしていきたい。	3		3	○授業参観もさせていただき、意欲的に取り組む子どもたちの姿を見ることができたことは大変うれしい。 ○音読が苦手な児童がいると耳にしているが苦手意識を持つ児童に対しての十分な指導と保護者と学校が連携をとり、そのような児童を助けてほしい。
		○ マス計算(各学年に応じた内容・量)を制限時間内に正確にできる児童100%を目指す。	★学校評価74% ○ 日々の授業内容に追われ、計算プリントの時間が十分にとれなかった。学力向上の基礎となる計算なので、児童に目的意識をもたせて取り組みたい。次年度は、支援が必要な児童に担任以外の職員が指導するなど、組織的な対応を行っていきたい。	2	3	3	○マス計算の重要性を感じる。 ○多忙をきわめる学校の中で個々の児童に対する授業は大変大切である。特色ある教育活動を今後も継続していただきたい。来年も楽しみにしている。
		○ 学年の目標冊数を読書する児童100%を目指す。	★学校評価95% ○ 朝の時間を有効に使って、本をたくさん読ませることができた。年度末までには100%になるように児童に呼びかけをしたい。今後、電子書籍も取り入れ、さらに児童が本に親しめるようにしたい。	3		4	○本年度ももう少しだが、本が好きになるための方法や工夫も合わせて取り組んでほしい。楽しい講師陣も呼ばれてはどうか。 ○目標冊数に向けて読書する姿が見られる。本が好きという児童も多く見られる。

評価項目	評価指標	具体的目標	学校の自己評価	自己評価		学校関係者評価	
				学校	総合	評価	コメント
徳に関する内容	1. 基本的な生活習慣や社会的マナー・エチケットを身に付けた子どもの育成を図る。	○ トイレのスリッパや靴(シューズ)をきちんと並べることができる児童100%を目指す。	★学校評価75.8% ○ 現場指導に加え、校内放送で靴が整理された学級を紹介する取組を行ったので、児童玄関の靴はずいぶんよくなった。トイレのスリッパが乱れていることがあるので、現場指導を徹底したい。	2		3	○家庭との連携が一番、家庭の躰のひとつとして、していただくといいのではと感じる。 ○長年の学校の課題として、取り組んでこられたことであるが、あまり結果にこだわらず良くなるためのプロセスを大切にしてほしい。ほめることで20%はアップすると思う。
		○ 無言清掃が徹底してできる児童90%以上を目指す。	★学校評価81.2% ○ 清掃場所により、無言清掃に差がある。校内放送による意識付けをもっと行い、無言清掃の意識付けを図っていく必要がある。	3		3	○簡単そうで難しい。
		○ よりよい人間関係づくりができる児童80%以上を目指す。 ・ 友達を「くん」「さん」で呼ぶ。	★学校評価48.5% ○ 教師自身が男女とわず「さん」をつけて呼ぶようにしたこと、呼び捨ての状況はずいぶん改善された。一方で、配慮のない言葉でトラブルになること	2	3	3	○「さん」付けで呼んでいる姿はよく見かける。児童の中に浸透していると感じる。 ○子どもと教師、子どもと親、教師同士、親との関係これからも大きな課題だと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> 乱暴な言葉や人が嫌がる言葉を言わない。 	<p>がよく見られた。相手を思いやる心がしっかり育つように、学級活動や道徳の授業の工夫改善を行う必要がある。</p>			<p>○相手を思いやる言葉に対しては、日々、周囲も含め取り組むしかないかもしれない。</p>
	<p>★「大東いじめ防止基本方針」に基づき、いじめゼロを目指すとともに、いじめが起きた場合には迅速に対応する。</p>	<p>★学校評価90%</p> <p>○児童がいじめとを感じる事案は数件あったが、どれも一時的なもので解決することができている。しかし、乱暴な言動で友達を傷つける場面はよく見られる。それらがいじめにつながないように、職員同士情報を共通し、全員で指導に当たるようにしている。</p>	3	3	<p>○社会の変化に対応して子どもも変わってきている。対応の仕方や指導については、多忙をきわめる先生たちも学んでほしい。どんな小さなことも見逃さない目・心をきたえてほしい。むずかしいことだが・・・</p> <p>○時折下校時に遊びのようなそうでないような場面に出会うことがある。気づいたときは声をかけるようにしている。</p>

評価項目	評価指標	具体的目標	学校の自己評価		自己評価		学校関係者評価	
			学校	総合	学校	総合	評価	コメント
体に関する内容	1. 体力向上プランに基づき、年間を通して主体的に体力を向上させようとする態度の育成を図る。	○ 上体起こし(体幹を鍛える運動)の県平均を上回る児童80%以上を目指す。	★ 学校評価92%	4	3	4	3	○大東の子どもたちのよさでもあり、特色であると思う。とは言いながら雨の日の車での登校等安心してはられない。今後も継続指導をお願いしたい。 ○継続できないので頑張っていたきたい。
		○ むし歯を治療する児童75%以上を目指す。	★ 学校評価61%	2		3		○親の歯の大切さに対する意識が足りないと思う。治療の大切さ歯の大切さを訴えていくしかない気がする。 ○大東に歯科医のないこの条件の中で大変むずかしい問題ではある。保護者との連携の工夫を加え、粘り強く指導してほしい。

評価項目	評価指標	具体的目標	学校の自己評価		自己評価		学校関係者評価	
			学校	総合	学校	総合	評価	コメント
家庭や地域との連携に関する内容	2. 家庭や地域と連携して、「早寝・早起き・朝ご飯」等の運動を通して、子ども達の健全育成に努める。	○ 歩いて登校する児童80%以上を目指す。	★ 学校評価73.2%	2	2	3	3	○生活が豊かになったための問題でもある。これも学校がしなくてはならない問題なのだろうか。 ○児童数の減少や不審者による声かけ等を考えると、大東の広い地域性から親の立場から心配と思う気持ちは理解できるので距離を決めて歩くという方法も理解できる。(学校の意図とは少し違うが))
		○ 家庭で決められたルールを守る児童80%以上を目指す。(メディア使用時間など)	★ 学校評価75%	3		3		○大賛成。とても大切な事と思う。 ○これは今後ももっともっと複雑で対応できないようなこともでてくると思われる。 家庭との連携を図り継続指導を根気強く進めてほしい。

		年で取組がばらばらで、実践にも温度差があった。次年度は共通実践できるように形式を検討中である。			
--	--	---	--	--	--